

5. 県議会に対するご意見・ご要望(自由記入欄) 23年5～6月

ご意見・ご要望	区分	補足等
(1) 県議会に対して		
救急医療体制について、特に1人老人が安心して生活していけるようにお願いします。(70歳代以上 女性A)	参考	
今回で2回目ですが、新知事のもと活発なご意見を持ちより出来てよかったです。特に伊賀市の医療問題は急を要します。よろしくお願いします。(70歳代以上 女性B)	参考	
精神障害者の自立について家族会の声を聞いてください。(40歳代 女性B)	参考	
各市町への出前報告会を数多くしていただきたい。(60歳代 女性B)	実施済	テーマ性を持って県民と意見交換する「みえ出前県議会」や、児童・生徒・学生向けの「みえ県議会出前講座」を会議日程等と調整しつつ、できる限り開催していきます。
財政危機に対する解決への貢献という面でも議員定数は40～45が望ましい。報酬を含めた議員1人当たりのコストを20%～25%削減が望ましい。(60歳代 男性B)	参考	議員報酬等については、学識経験者等で構成する「議員報酬等に関する在り方調査会」を設置し、意見をいただくこととなりました。なお、東日本大震災の復興支援等のための当面の措置として、議員報酬月額10%相当額の12か月分を議員が拠出すること、政務調査費の20%相当額を平成23年7月から1年間減額することも決定されました。
定例会は6、9、12、3月の従来型の方が分かりやすい。戻した方がよいのでは、議会改革になってないのではないか。名称変更だけでは意味がない。県庁の行財政改革について、しっかりした議論を。(60歳代 男性D)	参考	本県議会では、平成20年から定例会を年2回制とし、常任委員会開催回数の倍増、議案に関する質疑の新設、参考人や公聴会を活用した県民意見の反映等を行い、充実した審議につなげています。会期の在り方については、今後も、さらなる見直しを続けていきます。
4月の選挙が終わって初の議会。新知事と県議の熱い議論を期待します。(30歳代 男性A)	参考	
初めて県議会を見させていただき、良い場面をありがとうございました。(70歳代以上 女性C)	参考	
議会事務局のみなさん、ごくろう様です。(20歳代 男性B)	参考	
(2) 議員に対して		
代表者会議に出席されている議員さんの声が県民傍聴席までとどきません。もっと大きな声で発言してください。(40歳代 女性A)	実施済	代表者会議については、6月23日からマイクシステムのあった議会運営委員会室へ会場を変更いたしました。
議員の質問に具体性がない。議会に大きな期待が持てない。参加議員にはもっとしっかりと。(60歳代 男性C)	参考	

5. 県議会に対するご意見・ご要望(自由記入欄) 23年5～6月

	ご意見・ご要望	区分	補足等
(3) 執行部に対して			
	理事、部長、委員のなかで、知事答弁中にも関わらず、あくび・居眠りかなと思う人が数名おられ、がっかりしました。(50歳代 女性A)	対応	ご意見は執行部(知事部局)に伝えます。
	鈴木知事に变革を期待する。少しくらいのワイングは大きな变革の中では、つきもの。大きい目で県民は支持すると思う。(60歳代 男性A)	対応	ご意見は執行部(知事部局)に伝えます。
	質問に対し、答弁された内容がどのように実際に動いているのか、広報が欲しい。(60歳代 女性C)	対応	ご意見は執行部(知事部局)に伝えます。
(4) その他			
	この天災を機会に、人との絆、喜びの持てる社会になるよう望みます。世の中全体が人の命より経済の方へ走りすぎているように感じます。(60歳代 女性A)	参考	
	3月11日以降は価値観の激変により、安心・安全・安定が永遠のキーワードとなった気がします。メディアの誠実さが求められる時代の幕開けではないでしょうか。(70歳代以上 男性A)	参考	
	12時頃に携帯電話の着信音を鳴らしたマスキには議会として抗議しておく必要があると思います。(30歳代 男性B)	参考	三重県議会傍聴規則において静粛を旨とされており、一層の周知を図っていきます。
	掛金0ペ-スの最低保障年金7万円実現したい。国民年金に困っています。東日本大震災はナゴヤにお任せで。ナゴヤでは、大型公園で重機訓練している。表示看板もありました。私も見てきましたが、それだけ支援に力を入れている。(20歳代 男性A)	参考	

区分について

「実施済」・・・既に実施されているもの

「実施予定」・・・意見を受けて実施を予定するもの

「参考」・・・具体的な実施策はないが、今後の議会運営で参考とするもの

「反映困難」・・・実施することが困難なもの

「対応」・・・議会の所管ではないため、所管機関等に伝えるなどの対応を行うもの